

キープジョン® K-100

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0307134
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

さまざまな工法に対応する接着増強剤です。

キープジョンはエチレン酢酸ビニル合成高分子エマルジョンを主成分として製造された製品であり、近代建築工法にマッチしたモルタル接着増強剤です。

耐水・耐薬品・耐凍結融解性に優れ、
塗布型工法・混入型工法に対応できる製品です。



缶装 18kg(丸缶入り)
4kg(ポリ缶入り)



警告

臓器(心臓、呼吸器系、腎臓、中枢神経系)障害のおそれ。
長期にわたる、または反復暴露による臓器(呼吸器系、中枢神経系)障害のおそれ。

■安全対策

- ・使用前に取扱説明書(安全データシートなど)を入手すること。
- ・すべての安全対策を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと。
- ・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
- ・この製品を使用する時に飲食または喫煙しないこと。

■応急措置

- ・吸入した場合:速やかに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは医師の診断を受ける。
- ・皮膚に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水で洗う。
- ・眼に入った場合:速やかに洗浄な水で最低15分間洗眼した後、医療処置を受ける。
- ・飲み込んだ場合:水でよく口の中を洗浄した後、医療処置を受ける。
- ・応急処置をする者の保護:汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物質に触れないよう手袋等の適切な保護具を使用する。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
- ・気分が悪いときは、医師の診断または手当を受けること。

■保管

- ・部外者が触れないよう施錠して保管すること。

■廃棄

- ・内容物及び容器を国、都道府県または市町村の規則に従って廃棄すること。

本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。

⚠ 注意事項

■使用上の注意

- ・製品開封後は、水分が蒸発しないように密栓して保管してください。
- ・直射日光や凍結の恐れのないところに保管してください。
- ・上記条件で保管いただき製造後6ヶ月までを目安に使用してください。

■カタログに関する注意事項

- ・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
- ・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
- ・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。
- ・本カタログは2023年5月に作成しました。

株式会社トクヤマ エムテック

URL <http://www.k-tokuyama.co.jp>

ISO 9001



QSCA
RQ 1957

(認証範囲) <https://www.jtccm.or.jp/>



MS
CM015

本社・東日本事業部 103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 KDX新日本橋駅前ビル3F
TEL 03-6265-1075 FAX 03-6265-1073

中日本事業部 573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3
TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125

中国営業所 745-8648 山口県周南市御影町1-1(株)トクヤマ セメント開発グループ2F
TEL 0834-62-7201 FAX 0834-62-7202

西日本事業部 九州営業所 812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2
TEL 092-642-9070 FAX 0834-62-7202

首都圏セメント建材開発センター 299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10
TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本硅砂鉱業(熊本)

販売店

塗布工法

キープジョンを下地に塗布することにより、
下地への吸水を調整します。
塗りつけるモルタルの正常な硬化を実現し、
下地に対する接着力が向上します。

一般的性質

項目	キープジョン	項目	キープジョン
外観	乳白色	最低造膜温度	0℃
不揮発分 (%)	45.0~47.0%	セメント安定性	優
粘度 (mPa·S)	1,200~2,000	機械的安定性	優
P H	4.00~6.00	化学的安定性	優
		凍結安定性	優

特徴

耐水性・耐薬品性UP!

作業性良好!

接着力・機械的強度UP!

塗布の場合の物性

塗布液配合

キープジョン	水	塗布量
10g	30~40g	150g/m ²

吸水調整材 (公共建築協会性能基準による試験結果)

試験項目(単位)		試験結果	性能基準
吸水試験 (g)	吸水性	0.3	30分間で1g以下であること
接着強度試験 吸水試験 (N/mm ²)	標準状態	1.86 (界面破断:0%)	著しいひび割れ、 及び剥離がなく、 接着強度が 0.98N/mm ² 以上で 界面破断が50%以下 であること
	熱冷繰返し抵抗性	1.29 (界面破断:26%)	
	凍結融解抵抗性	1.55 (界面破断:14%)	
	熱アルカリ溶液抵抗性	1.35 (界面破断:11%)	
	外観及び破断状況	いずれも著しいひび割れ および剥離がなく、 界面破断が50%以下であること	

試験所：(財)ベターリビング筑波建築試験センター

調合

用途	希釈配合	塗布量(希釈液)	塗布面積(1缶当り)
コンクリート内外壁 コンクリート天井 軽量コンクリート下地 コンクリート床面 など	<p>キープジョン + 水</p> <p>18kg + 72kg</p> <p>1:4</p>	約150~200g/m ²	約450~600m ²
ALCパネルなど 吸水の激しい下地	<p>キープジョン + 水</p> <p>18kg + 72kg</p> <p>1:4</p>	2回に分け塗布 約450g/m ²	約200m ²

●使用前に十分攪拌してください。●使用には、刷毛・デッキブラシ等でむらなく塗布してください。

使用上の注意

- ① 下地のレイタンス、硬化不良部分、油分、汚れ等は、十分除去・清掃してください。
- ② 刷毛等で塗り残しのないようにむらなく塗布してください。
- ③ ゴミ等の付着は接着を阻害しますので、塗布造膜後はできるだけ早く、モルタルを塗付けてください。
- ④ 5℃以下になる恐れがある場合は、施工を中止してください。
- ⑤ 製品は、製造年月日を確認し、6ヶ月以上経過したものは使用しないでください。

混入工法

キープジョンをモルタルに
混入することで、
モルタル物性が向上します。

特徴

耐衝撃性・曲げ強度・耐摩耗性

耐水性UP!!

接着力UP!

混入の場合の物性

モルタル配合

セメント	450g
JIS標準砂	1,350g
キープジョン	100.2g
水	145g

物性 (JIS A 6203による試験結果)

	キープジョン混入モルタル	JIS規格
曲げ強さ (N/mm ²)	10.4	8.0 (81.6) 以上
圧縮強さ (N/mm ²)	50.4	24.0 (245) 以上
接着強さ (N/mm ²)	1.9	1.0 (10.2) 以上
吸水率 (%)	3.0	10.0以下
透水性 (g)	2	15以下
長さ変化率 (%)	0.069	0~0.150

試験所：(財)建材試験センター中国試験所

キープジョン混入ポリマーセメントモルタルの作り方

	配合	施工面積
モルタル	<p>砂 + セメント + キープジョン + 水</p> <p>50~75kg + 25kg + 2.5~4kg + 適量</p>	約7~11m ² /5mm厚
現場調合 モルタル	<p>細砂(珪砂) + セメント + キープジョン + 水</p> <p>20~25kg + 25kg + 4.3~5kg + 適量</p>	約15~19m ² /2mm厚
セメント ペースト	<p>セメント + キープジョン + 水</p> <p>25kg + 2.5~5kg + 適量</p>	約25m ² /1mm厚

使用上の注意

- ① 下地のレイタンス、硬化不良部分、油分、汚れ等は、十分除去・清掃してください。
- ② 吸水の激しい下地の場合は水打ちを行うか、キープジョン塗布液にて、下地処理を行ってください。(塗布液の作り方参照)
- ③ セメント・骨材をあらかじめ空練りしてください。
- ④ 混練したポリマーセメントモルタルは、1時間以内にご使用ください。
- ⑤ 5℃以下になる恐れがある場合は、施工を中止してください。
- ⑥ 製品は、製造年月日を確認し、6ヶ月以上経過したものは使用しないでください。